

「ありがとう」と言っていただけの仕事、 介護職は人の笑顔が自分の幸せ

家族との時間が無い生活に 違和感

高校卒業後の進路は？

父が税理士事務所に勤務していた影響もあり、大学は経済学部に進学しました。4年間、税理士を目指す仲間と簿記会計研究部で活動していました。就職は、アパレル会社の小売部門で埼玉の店舗販売に就きました。職場では、日々の全てを仕事に費やすのが当然という、働く現実を叩き込まれました。自分の時間や家族との時間が無い生活をする先輩や上司を見て、自分も同じような将来を歩むことに違和感が生まれました。

「ありがとう」と 言っていただけの仕事

現在の仕事に出会うまでのことを教えてください。

父の病気をきっかけに、実家に帰ってきました。就職活動を始め、高島市社会福祉協議会を知りました。コミュニティワーカーとして働いていた同級生から話を聞き、地域に関わるいい仕事だと感じました。最初、通所介護施設に配属となり、利用者さんの暖かい「ありがとう」の言葉に「ああ、こういう仕事があるんだな」と感動しました。通所介護施設で3年勤務し、主任として職員のマネジメントや施設全体のプログラム作りなどを担当するようになりました。さまざまな研修にも参加し、通信教育で社会福祉士の資格を取得し、さらに介護の仕事が続けたいと感じて、介護福祉士、ケアマネジャー資格も取得しました。

現在勤務されている「えがお屋本舗下古賀店」とはどんな施設ですか？

平成24年に小規模多機能型居宅介護施設として開設されました。この施設は、高齢者が慣れ親しんだ人と地域の中で、生活能力の維持と向上を図れるよう、自宅での生活を支援しています。日中は施設に通い、サービスを受けることができ、また職員が自宅を訪問し、日常生活のサポートもします。時には施設で宿泊もいただけます。施設に所属するケアマネジャーが利用者の生活全般を見ながら介護プランを作成します。

地域密着型施設であり、地域との連携は欠かせません。開設準備から勤務していますが、地域の方に、運営委員に就いていただき、少しずつ信頼ができてきたと感じています。地域の方とともに夏祭りなどを開き、住人さんと利用者さんとの交流を図り、施設と地域の垣根を低くしてきました。介護サービスを提供する場だけではなく“地域の縁側”のような場を目指しています。敷地内にある蔵を改修してコミュニティカフェを開設する予定で、このカフェも地域のみなさんと運営していきたいと思っています。

地域の方々とともに

仕事のやりがいは何ですか？

職員の育成にやりがいを感じています。職員が「利用者さんにとって良いサービスとは何か」を考え、理解し、自主性を発揮して、私の想像を超えるアイデアなどを出してくれる時は嬉しいですね。また、夏祭



りの参加者や協力者が年々増えており、地域づくりを実感しています。祭りに関わってくださった地域の役員さんは、任期を終えても関わり続けてくれています。

課題や今後の展望は？

認知症の利用者さんに対して、職員が理解を深め、一人ひとりに合ったサービスを提供したいと思っていますが、まだ難しさも感じています。認知症に対する地域の理解を広げることも大切だと考えており、出前講座を開いたり、祭りなどで直接、認知症の方と交流してもらっています。地域に開かれたサロンやカフェの運営で、子ども、現役世代、高齢者が交流する場を地域の方々とともに作って行きたいと思っています。

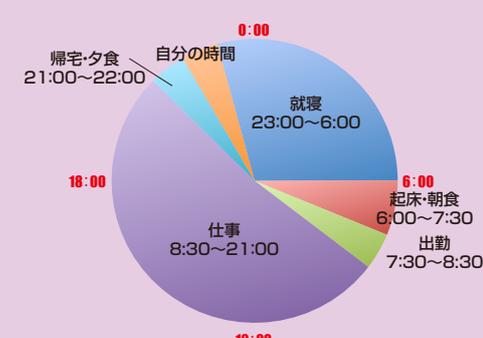


DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1979年、高島市生まれ。2004年、高島町社会福祉協議会に入社。5歳、3歳の父。高島の良さは、自然や地域の人のつながり、子どもと地域の行事や祭りも楽しめ、癒しと安心を感じるところ。高島は子どもを育てるのにもってこいだと思います。

●1日のタイムスケジュール



介護職は人の笑顔が自分の幸せ

福祉分野での仕事をを目指す若い人へのメッセージをお願いします。

福祉や介護は学びの多い仕事です。自分の成長にもつながり、自己実現したい方へお勧めの仕事です。人の幸せに関われる仕事で、周囲の笑顔と、自分の幸せにつながる場所は、福祉や介護職のやりがいです。

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 えがお屋本舗下古賀店

〒520-1202 高島市安曇川町下古賀1255番地

TEL : 0740-20-1352 FAX : 0740-20-1791 HP : <http://takashima-shakyo.or.jp>